

ネパールの母性保護活動の現場から

～プラティバ・リジェールさんをむかえて～

国連より世界の最貧国の一つに指定されているネパールでは、貧困、カーストによる差別、男尊女卑の因習などにより、女性や社会的弱者が極めて厳しい状況に置かれています。女性が妊娠・出産時に命を落としたり子どもが障害を負うケースも多発しています。そのような状況を改善し、女性と子どもの命と人権を守る活動をしているプラティバさんが、このたび研修のために来日されます。この機会に、ネパールでの女性の置かれている現状と、草の根の支援活動の様子を報告していただきます。また、長年プラティバさんとともに活動している大仲さんより、日本からの支援の状況などについてお話しいたします。

日時：2012年6月15日(金) 午後2時～4時

場所：豊中市立男女共同参画推進センター すてっぷ 視聴覚室
(阪急豊中駅すぐ、エトレ豊中5F)

講師：プラティバ・リジェールさん (NGO ラルパテ・ネパール代表)
大仲ゆかりさん (ラルパテの会・日本 事務局長)

プラティバ・リジェールさん



ラルパテの会の現地リーダーとして10年間活動している。障害者支援の活動の中で、妊娠・出産時の異常や乳児期の高熱などにより障害者となる子どもが多いことに気づき、3年前から母性保護のために中学校で講義をしたり、地域の母親たちに話をしている。今回、日本の母子保健システムを学び、ネパールでの活動に活かすために来日した。

参加費：無料 申込み：不要

主催：TIFA 外国人女性支援プロジェクト 協力：TIFA ネパールプロジェクト

連絡先：TEL/FAX: 06-6840-1014

Eメール：tifa99@nifty.ne.jp

(NPO 法人 国際交流の会とよなか(TIFA) 事務局)

一時保育

対象:1歳～就学前まで。

一時保育料:子どもひとりにつき525円(税込)

締切:6月8日(金)まで。要事前申込み。

